

併願パターン例

自分に合った併願パターンで合否判定の機会を増やすことができます。

例1 一度の受験で多くの合否判定の機会がほしい

T日程入試と英語外部試験利用入試の併願で複数の学部・学科を一度に受験することが可能です。

- T日程入試および英語外部試験利用入試は同一科目パターンの中で併願が可能です。
- T日程入試と英語外部試験利用入試との併願が可能です。
- 両入試とも併願割引が適用され、2件目以降の入学検定料は15,000円になります。

大学入学共通テスト利用入試B方式・C方式は複数学部への併願が可能です。

- 大学入学共通テスト利用入試B方式およびC方式は複数学部への併願が可能です。
- 大学入学共通テスト利用入試B方式とC方式、両方式の併願が可能です。

例2 特定の学部で学びたい

A方式入試は学部や学科ごとに試験日を設定しているため、試験日が異なる学部・学科の併願が可能です。

学科を変えて同一学部を併願する場合

- 法学部I日程:国際政治学科(2月8日)
- 法学部II日程:法律学科または政治学科(2月16日)

同一系統の学部を併願する場合

- 経営学部(経営学科)I日程(2月7日)
- 経営学部(経営戦略学科または市場経営学科)II日程(2月8日)
- 経済学部(国際経済学科または現代ビジネス学科)I日程(2月9日)
- 経済学部(経済学科)II日程(2月12日)

例3 入学したい学部・学科が決まっている

同一学部・学科を異なる入試方式で複数回受験することにより、合否判定の機会が増えます。学部・学科によっては、最大5併願が可能です。

- T日程入試 英語外部試験利用入試 A方式入試
- 大学入学共通テスト利用入試B方式 大学入学共通テスト利用入試C方式

例4 学びたい系統・分野が決まっている

同系統の学部の入試を組み合わせることで、合否判定の機会が増えます。
また、A方式入試は試験日が異なれば同一学部であっても併願が可能です。

経済・経営学系希望の場合

- T日程入試:経済学部、経営学部を併願(2月5日)
- 英語外部試験利用入試:経済学部国際経済学科(2月5日)
- A方式入試:経営学部I日程(2月7日)
経営学部II日程(2月8日)
経済学部I日程(2月9日)
経済学部II日程(2月12日)
- 大学入学共通テスト利用入試:
B・C方式それぞれで経済学部、経営学部を併願

心理学系希望の場合

- T日程入試:文学部心理学科、
現代福祉学部臨床心理学科を併願(2月5日)
- 英語外部試験利用入試:現代福祉学部臨床心理学科(2月5日)
- A方式入試:文学部II日程心理学科(2月8日)
現代福祉学部臨床心理学科(2月9日)
- 大学入学共通テスト利用入試:
B・C方式それぞれで文学部心理学科、
現代福祉学部臨床心理学科を併願